

小樽市立潮見台中学校 グランドデザイン

目指す学校像 子どもたちに未来を生き抜く力を育む教育の推進

9年間で目指す子ども像

「かかわり」「つながり」共に未来を切り拓く子ども

- ◆目標をもち、計画的に取り組む子ども
- ◆人とのつながりを大切にする子ども
- ◆自分をみつめ、素直に表現する子ども

教育目標 (令和7年制定)

自律・挑戦・認め合い

- 自律 自分で考え、表現し、行動する人
挑戦 自己の向上に向けて粘り強く挑戦する人
認め合い 自分と異なる立場の考えを受け入れる人

年度の重点目標

自律的に生き、学ぶ生徒

基本方針

生徒が「何が身についたか」「何ができるようになったか」を自覚できるよう、教科等横断的で地域の資源・人材を有効に活用した体験的かつ問題解決的な学びを重視する。

何ができるようになるか

- 自己をコントロールする
- 最後までやり遂げる
- 異なる立場の人を受け入れる
- 自分の考えをまとめ、表現する
(対応力、対話力、協働性 など)

何を学ぶか

- 新しい時代に必要な資質・能力～総合的な学習の時間を中核とした、自分の個性を生かし、他者と協働して課題を解決する学び
- A夢を実現する確かな学力の育成
- B自己理解の推進と地域の中で他者を認め合う精神の育成
- C健康的な生活習慣の育成
- ★小学校との連携により、9年間で身につける力を共有

- A自己決定の場面を重視した授業の実施
- A話し合い活動や思考を重視した授業づくり
- A放課後や長期休業中の学習会
- A「潮中シート」の活用
- ※「各教科等で学んだことを生かし、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」74%に
- B朝の読書活動、NIEタイムの実施
- B自己実現を促す生徒指導
- B人間関係能力の育成、地域に根付いたキャリア教育の推進
- ※「地域や社会をよくするために何かしたい」74%に
- C生涯にわたって運動に親しむ習慣づくり
- C命を守る判断力・行動力の育成
- C成長期の健康保持増進
- ※スマートフォンの扱い時間(平日)2時間以上を15%未満に

何を身につけるか

- 学びに向かう力
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
- 生きて働く知識・技能

今日的な課題への対応

- 教職員の働き方改革を通して、持続可能な学校運営を実現
- 特別支援教育に関する校内研修の充実
- AI社会に立ち向かう倫理的判断力の育成

幼保小中高の連携

- 幼保小の連携→スタートアップカリキュラムの活用
- 小中高連携の取組→乗り入れ授業(含生徒指導)、教師間の情報共有(児童生徒情報)公開研の相互参加
9(12)年間を貫く総合的な学習の時間における地域学習、合同研修会
小学生による中学校部活動見学、学校説明会・体験入学、インターンシップ

保護者との連携

- 基本的な生活習慣の確立とスマホのルール作り
- 家族で挨拶、思いやりについての対話
- 困難や失敗から学ぶ環境づくり

地域との連携

- 学校の教育活動への協力や登下校時の見守り活動【学校運営協議会との連携】
- 潮ねりこみへの合同参加
- 町内会行事への参加